

ペインコンパス®

痛みや過敏性を "見える化" する、
新しい評価ツール



痛みや過敏性の客観的評価で、研究・ケア・予防の新たな可能性を拓く

ペインコンパス®とは？

非侵襲で、慢性疼痛・中枢性感作の客観的評価が可能な過敏性評価ツール。

脳の神経回路の変化による慢性疼痛・中枢性感作など外部刺激に過敏な方のその感覚を可視化するためサーマルグリル錯覚を利用し、痛覚や過敏性の程度を測定・数値化。過敏性評価をサポートし、適切な治療・ケアプラン構築を支援。

**痛みの原因は
神経の損傷だけ
ではない！**

「脳の神経回路の変化」による痛みとは？

- 身体の損傷や神経の異常がなくても痛みを感じる
- 日本国内で約 2300 万人（癌の痛み関連は除外）が苦しむ慢性疼痛・中枢性感作など外部刺激に過敏な方の評価に使用
- 従来の評価方法では特定が困難
- ペインコンパス®により、痛みのメカニズムを科学的に解析可能



ペインコンパス®の活用シーン

1. 臨床・研究での評価

診察・リハビリの現場で簡単に使用可能。痛みの過敏性を即時に可視化し、治療効果をリアルタイムで確認。

2. 企業従業員の心の健康評価にも活用可能

痛みのパターンや中枢性感作のメカニズムを分析し、ストレスや心身の健康状態を客観的に評価。慢性疼痛やストレス関連疾患の早期発見・予防に貢献し、職場の健康管理やウェルビーイングの向上をサポート。



※本製品は研究・教育用途を目的としており、診断・治療を目的とするものではありません。